

路地百選推薦書

推薦者氏名：鈴木 隆男

推薦する路地（のまち）の名称	京都錦小路通
所在地	京都市中京区富小路四条上る西大文字町 609

【推薦する理由（路地のよいところ）】

錦市場（にしき いちば）は、京都市街ほぼ中央に位置する錦小路通のうち「寺町通～高倉通」間の商店街で、魚・京野菜などの生鮮食材や、乾物・漬物・おばんざい（京都言葉で日常の惣菜）などの加工食品を商う老舗・専門店が集まる市場である。

【写真添付】



路地	面積	約	h a	路地の延長	約全長：390m道路幅：3.2m～5m
まちの成り立ち、特色等の概要		錦小路通りの起源は、東は寺町に起り、西は大宮西入るに至る。延暦年中頃開通したといわれ、文明年中以来荒廃し、天正年間再開した場所である。街名（道の名前）の由来は諸説あるが、くその小路と呼ばれていたのを、時の帝により、四条の南に綾小路があり一対となるよう「錦小路」とせよと命じられたともいう。市場として開設された年月は明らかではないが、豊臣秀吉の天下統一後のこと（約 400 年前）と推定される。本格的な魚市場となったのは江戸時代に入ってからで、幕府より魚問屋の称号が許された。昭和 2 年、錦盛会を組織、昭和 38 年に錦栄会を発展解消し、京都錦市場商店街振興組合を設立した。			

路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。